

授業科目

社会福祉援助技術現場実習Ⅲ

| | | | | |
|------------------------------------|------|----|-------|---------------------------|
| 【担当教員名】 松山 丸田 豊田 村上 星野 松本 濱野 | 対象学年 | 3 | 対象学科 | 社会 |
| | 開講時期 | 前期 | 必修・選択 | 必修 |
| | 単位数 | 6 | 時間数 | 210 (内事前・事後指導各15、現場実習180) |

【<概要>又は<一般目標>：G I O】

本授業は、社会福祉現場実習及び社会福祉実習指導（実習の前後の指導）から構成する。現場実習は、原則として8月から9月にかけて4週間の配属実習を行う。実習指導は前期に事前指導を、後期に事後指導を行うが、基本的には分野別（行政・児童・障害・高齢）のグループにおける個別指導を通して、福祉専門職（社会福祉士）として求められる資質、技能、倫理等の習得を図る。また、後期の事後指導においては、実習記録に基づく実習報告書を作成するとともに、実習施設等と連携した報告会等を開催し、自己に求められる課題の明確化とその対応方法等についての理解を深める。

【<学習目標>又は<行動目標>：S B O】

1. 社会福祉現場実習の意義及び現場実習を通して習得すべき専門知識・技術、倫理及び関連知識等を正しく理解する。
2. 社会福祉援助技術の講義や演習等で学んだことを踏まえ、福祉専門職（社会福祉士）として必要な専門知識・技術、倫理及び関連知識等を具体的に体得する。
3. 具体的な援助活動等の実践や体験等を理論化し、専門知識・技術、倫理及び関連知識等を体系的に理解する能力を身につける。
4. 実習後においては、実習内容についての達成度を評価し、自己の課題等の解決に向けて具体的に取り組むことのできる能力を身につける。

| 回数 | 授業計画又は学習の主題 | | SBO |
|----|-------------|---------------------------------|--|
| | | | 番号 学習方法・学習課題又は備考 |
| | 【前期】 | | |
| 1 | ガイダンス | 授業の進め方、実習の目的・内容と方法・留意事項等について学ぶ。 | 講義 ○事前指導は、分野別にグループ分けするが、基本的には担当教員による個別指導とする。 ○配属先で必要とされる専門知識・技術等については、分野別に外部講師を招いて効果的に指導を進める。 ○学習内容に応じては、グループ合同での学習方法を取り入れる。 担当教員による巡回指導を行う。 |
| 2 | グループ別指導① | 次の内容について正しい知識と技術を習得する。 | |
| 3 | グループ別指導② | ○実習の意義や目的を理解し、個別実習計画を作成する。 | |
| 4 | グループ別指導③ | ○配属先についての基本的知識と必要とされる専門知識・技術 | |
| 5 | グループ別指導④ | (行動観察の技術、記録の書き方を含む)の基礎を習得する。 | |
| 6 | グループ別指導⑤ | ○利用者等のプライバシー保護と守秘義務の重要性について | |
| 7 | グループ別指導⑥ | 理解する。 | |
| 8 | 全体指導 | ○実習生に求められる勤務態度や服務等を身につける。 | |
| 9 | グループ別指導⑦ | ○その他、事前指導に必要な学習内容は、学科内の実習委員会 | |
| 10 | グループ別指導⑧ | 調整する予定である。 | |
| 11 | グループ別指導⑨ | | |
| 12 | 巡回指導事前指導 | | |
| 13 | グループ別指導⑩ | | |
| | 【現場実習】 | | |
| | 8～9月配属実習 | 配属先及び実習日程は、別途知らせる。 | 担当教員による巡回指導を行う。 |
| | 【後期】 | | |
| 1 | グループ別指導① | 次の内容について学習する。 | ○事後指導は、事前指導と同グループとするが、基本的には担当教員による個別指導とする。 ○実習報告会は、実習施設等との連携により効果的な実施に努める。 |
| 2 | グループ別指導② | ○実習内容についての達成度等を検証し、解決すべき自己の課題等を | |
| 3 | グループ別指導③ | 明確にする。 | |
| 4 | グループ別指導④ | ○実習記録に基づく実習報告書（実習総括レポート）等を作成すると | |
| 5 | グループ別指導⑤ | ともに、実習報告会等を通して自己の課題等に具体的に取り組む | |
| 6 | グループ別指導⑥ | 対応策を理解する。 | |
| 7 | グループ別指導⑦ | ○その他、事後指導に必要な学習内容は、学科内の実習委員会 | |
| 8 | 実習報告会① | する予定である。 | |
| 9 | 実習報告会② | | |

| | | | | |
|--------|-----------|----------|-------|--------------|
| 【使用図書】 | <書名> | <著者名> | <発行所> | <発行年・価格・その他> |
| 教科書 | | | | |
| 参考書 | 五訂 社会福祉実習 | | 中央法規 | 2007・未定 |
| その他の資料 | 現場実習の手引き | 新潟医療福祉大学 | 2006年 | |

| | | | |
|--------|---|-----------|---|
| 【評価方法】 | 事前指導及び事後指導の出席状況、実習先での評価、実習ノート、レポート、実習報告書等を総合的に評価する。 | 【履修上の留意点】 | ・本実習Ⅲは、社会福祉援助技術現場実習Ⅱの単位取得がなければ履修できないものであり、実習Ⅱと実習Ⅲのいずれの単位を取得しないと、社会福祉士の受験資格は得られないものであること。 ・事前指導及び事後指導は、社会福祉士指定科目「社会福祉援助技術現場実習指導」に該当するものであるため、必ず出席すること。 ・上記の授業計画及び学習内容等は、変更される場合もあるので、担当教員の指導によること。 |
|--------|---|-----------|---|